

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要

建物名称	(仮称)タンレイ工業(株)第二期旋削棟新築工事	
建設地	新潟県新潟市北区太田字松影甲104-1他	
用途地域	工業地域、防火指定無し	
建物用途	工場	
竣工年	2018年8月 竣工	
敷地面積	29,876.89 m ²	
建築面積	4,245.60 m ²	
延床面積	4,200.00 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2018年3月30日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49.6}{40.1} = 1.2$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.3		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.7		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

階高を高く設定し開放的な建物としている。また敷地に対して比較的にゆったりとした建築面積で建てられており、卓越風に対して有効である。

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タンレイ工業(株)第二期旋削棟新築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市北区太田字松影甲104-1他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定無し	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 竣工	評価の実施日	2018年3月30日
敷地面積	29,877 m ²	作成者	杉澤 毅
建築面積	4,246 m ²	確認日	2018年3月30日
延床面積	4,200 m ²	確認者	杉澤 毅



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	耐用性	対応性
3.5	2.8	3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	まちなみ	地域性・
2.0	3.0	3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	4.0	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	3.1	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.6	3.0	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	階高を高く設定し開放的な建物としている。また敷地に対して比較的にゆったりとした建築面積で建てられており、卓越風に対して有効である。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
省略	トイレは清掃のしやすい化粧ケイカル板を採用するなど機能的な仕上げを選択している。また外部鉄部に垂鉛メッキを施している。	大きい敷地内で風景になじむデザインとしている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ計算対象がない建物である為、省略。	内装壁はLGS+PBで躯体と仕上げが用意に分別可能である。	敷地に対してゆったりと建てられているため、卓越風に対して有効になっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される